



クラブ訪問 201

当たり前前のことを当たり前前

フォルティミニバスケットボールクラブ

私たちフォルティは、小学3～6年生の女子15人で活動しているミニバスケットボールチームです。週に4回、平成小学校や公津の杜小学校の体育館で練習しています。

チームのモットーは、「当たり前前のことを当たり前前」に。これは、しっかりとあいさつをする、靴を脱いだらそろえる、荷物は整理して置くなど、練習を通じて、生活の中で大切な礼儀を覚えるというものです。みんなが「当たり前前」を意識しているの、自分から率先して用具の手入れをしたり、コートのもップ掛けを行ったりするなど、全員で助け合えるチームになっていると思います。

そんなチームの課題は、一人一人が積極的に攻めるという意識をさらに強くすることです。昨年10月に行われた印旛郡市秋季大会では優勝を目指していましたが、惜しくも3位という結果でした。協力して勝つという気持ちはどのチームにも負けない自信がありました。自分が切り込んでいくシニートを決めるといった積極性が足りなかったと思っています。

その課題を達成するために、練習ではゴール前でポジション取りや一対一などに力を入れて取り組んでいます。監督からアドバイスをもらいな

がら、技術だけでなく生活面や精神面でも成長できよう頑張っています。



素早いカウンター



競り負けないように練習



すみひなた
角陽菜多キャプテン(6年生)

普段からみんなのお手本になれるように、何事も率先して行動するようにしています。

どんな物でも自分好みに

ハンナクラブ

私たち「ハンナクラブ」は、第1・3金曜日に中郷公民館でツールペイントを楽しんでいるサークルです。ツールとはフランス語でブリキという意味。ツールペイントは、ブリキでできた容器やお盆などにオイル絵の具で絵を描くヨーロッパで生まれた芸術です。20世紀中頃にアメリカに伝わり、趣味として発展しました。

現在では、色が落ちにくいアクリル絵の具を使用するようになり、絵を描く対象物の幅が広がりました。ガラスやプラスチック、木、布、革など素材を選ばないのが大きな魅力です。これまでもベンチやのれん、かばん、キャンドルグラスなどを、自分好みの色や絵柄を施して生まれ変わらせてきました。家にある物を新しくしたりもしますが、リサイクル店にもたびたび足を運びます。品物の種類が多く、安く手に入



小物入れのふたに絵を



基本のストロークを重ねて描いた花



自分で絵柄を入れた作品を手に

るので「宝の山」と重宝しています。出来上がった物を友人に披露すると、「私にもこういうイメージで作って」とリクエストを受けることもあるんですよ。

ツールペイントで大事なのはストロークと呼ばれる筆使い。ほとんどの作品は、Cの字のような弧や渦巻模様など、さまざまなストロークを組み合わせて描きます。一通り習得した今では、太さや形状の異なる筆を使い分けて、模様や植物、人物、風景など多種多様なものを描けるようになりました。時には、スポンジや紙を道具にして、こすったり軽く押し付けたりする技法も用います。

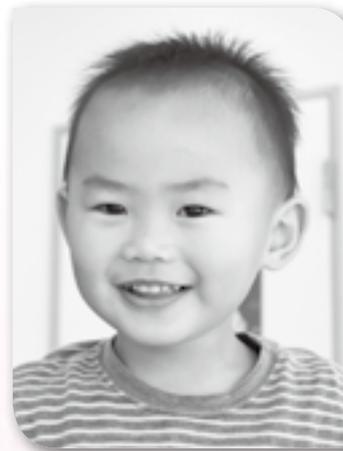
「何に・どの色で・どんな絵を描こうか」と迷うのは、とても楽しい時間。これからも、いろいろな物をすてきに変身させていきたいです。



あさの あすか
浅野 明日香ちゃん(3歳)三里塚
春から幼稚園でドキドキです(^.^)



くまがい みゆ
熊谷 美優ちゃん(8カ月)本三里塚
とっても元気な子で、高い所が大好きです。



いとひや りょうが
糸日谷 亮篤くん(2歳)本三里塚
元気いっぱい体を動かして遊ぶことが大好きです。日々成長中!

このコーナーには市内在住で5歳までのお子さんの写真を掲載しています。お気に入りの1枚が撮れましたら、ぜひお寄せください。

- 応募方法 お子さんの写真・住所・氏名(ふりがな)・生年月日・親の名前・電話番号・30字程度のコメントを郵送またはEメールで広報課へ
- 応募先 〒286-8585 花崎町760 成田市役所広報課 koho@city.narita.chiba.jp (写真データはJPEGで容量1MB以上で送ってください)
- 問い合わせ 広報課 ☎20-1503